

2025年8月18日

各 位

持田製薬株式会社

潰瘍性大腸炎治療剤「リアルダ錠 600mg」の 薬価基準収載ならびに新発売のお知らせ

持田製薬株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：持田 直幸、以下「持田製薬」）は、潰瘍性大腸炎治療剤「リアルダ錠」の新しい規格である「リアルダ錠 600mg」（以下、「本剤」）について、8月14日に薬価基準に収載されたことを受け、9月8日に発売することをお知らせいたします。

「リアルダ錠」は、MMX[®]テクノロジー¹⁾により、標的部位である大腸に有効成分が送達され、同部位にて持続的に放出されるように設計された 5-アミノサリチル酸製剤です。活動期・寛解期ともに1日1回経口投与が可能です。持田製薬は、2009年にシャイアー・ファーマシューティカルズ・グループ社より「リアルダ錠」を導入²⁾して国内開発を進め、2016年より潰瘍性大腸炎治療剤として販売しています。

本剤は、すでに販売している「リアルダ錠 1200mg」より小型で、体重に応じて投与量を柔軟に選択できる製剤として開発しました。

持田製薬は、本剤が潰瘍性大腸炎の患者さんのQOL向上に貢献できるものと考えております。

以 上

- 1) MMX[®] (Multi-Matrix System) テクノロジーは、有効成分を大腸へ送達し、持続的に放出することを可能にする DDS (Drug Delivery System) です。
- 2) 「リアルダ錠」のライセンス契約は、2023年に武田ファーマシューティカルズ U.S.A. 社に移管されています。

<本件に関するお問い合わせ先>

持田製薬株式会社 経営企画部広報室 (TEL. 03-3225-6303)

【ご参考】

製品の概要

販売名	:	リアルダ錠 600mg
一般名	:	メサラジン
剤型・含量	:	フィルムコーティング錠 1錠中 メサラジン 600mg 含有
効能又は効果	:	潰瘍性大腸炎（重症を除く）
用法及び用量	:	通常、成人にはメサラジンとして1日1回 2,400mg を食後経口投与する。活動期は、通常、成人にはメサラジンとして1日1回 4,800mg を食後経口投与するが、患者の状態により適宜減量する。 通常、体重 23kg 超の小児にはメサラジンとして1日1回 40mg/kg を食後経口投与するが、2,400mg を上限とする。活動期は、通常、体重 23kg 超の小児にはメサラジンとして1日1回 80mg/kg を食後経口投与するが、4,800mg を上限とし、患者の状態により適宜減量する。
包装	:	100錠[10錠（PTP）×10]
薬価	:	1錠 96.10円
製造販売承認日	:	2025年6月24日
薬価基準収載日	:	2025年8月14日
発売日	:	2025年9月8日
製造販売元	:	持田製薬株式会社